

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和2年3月定例会

議席番号9番
高桑 佳子議員

1. 町長のトップセールスは何を目指すか

- ① 町長は9期目にあたり、トップセールスを徹底的にやっていると表明されている。企業や人と町との橋渡しに力をいれていかれると思うが、出雲崎町の売り込みにより、どのような効果や成果を目指していかれるのか伺う。
- ② 東京オリンピック開催時の混雑緩和や働き方改革、コロナウィルス蔓延防止のために、会社に通勤せずに自宅や「サテライトオフィス」仕事をする、「テレワーク」という働き方が注目され、急速に進んでいる。総務省では、全国各地に登録のある「おためしサテライトオフィス」を紹介しているが、当町も「おためしサテライトオフィス」を整備してはどうか。
- ③ インターネットでのショッピングやテレフォンショッピングが普及してきた。それと同時に、企業では窓口となる「コールセンター」が重要な役割を占めている。会社や工場の誘致は難しいが、企業の「コールセンター」だけを出雲崎町に開設してもらうような働きかけはできないか。
- ④ これからの時代は、地方でも高速通信網の整備を進めていかなければならない。通信網やWi-Fi環境の整備を全町に広げていく考えはないか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和2年9月定例会

議席番号9番
高桑 佳子議員

1. 町民総ガイド化事業とこれからの観光ガイドについて

出雲崎の歴史や妻入りの町並み、そして良寛さんは、素晴らしい観光資源でありながら、訪れた方々に見ていただくだけでは分かり難いところもある。観光ボランティアガイドを利用された観光客の満足度は高く、『住民総ガイド化事業』も、観光立町を目指す当町にとって、強く進めていきたい事業のひとつと考える。出雲崎町内外に向けての観光事業発信と、具体的な施策について伺う。

(1) 「住民総ガイド化事業」について、町長が期待されることと、これからどの様に進めたいと考えるかを伺う。

(2) 「観光おもてなし講座」を1月から3月にかけて開催しているが、年間を通して開催できないか。

(3) 町内外で大変好評だった「まちあるきイベント」を復活させてはどうか。

(4) 児童生徒に出雲崎を愛する心を培ってもらう良寛学習をおこなっているが、町歩きや美しい風景に触れる機会を増やせないか。

(5) 「出雲崎ふるさと語り部」について、人材の充実を図るとともに、現在の利用方法を見直す考えはないか。

・ 1週間前予約制をとっているが、観光客の多いシーズン、土日等は天領の里に観光ガイドを常駐させる。

・ ガイド料金を見直し、出来るだけおさえて、人件費は町が観光協会に補助できないか。

・ ふるさと語り部ガイドの利用を、ネットからアクセスしやすいように変更する。